

意見書

教 科
国語

種 目
国語

発 行 者
東京書籍

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・教材ごとに「広がる言葉」を設定し、使える語句の知識を増やし、語感を磨くことができるよう工夫されている。
	(2)	・各学年に情報の扱い方に関する単元が位置づいている。 ・古典作品が多く掲載されており、生徒が古典に親しむための材料が豊富である。
	(3)	・「読むこと」教材において、「てびき」に学習の流れが示してある。また、単元の終末では「書く」「話し合う」という活動をして、これまでの学びをどう表現するかが分かりやすく説明されている。 ・作成物の工夫を具体的に示しており、思考の材料が整えられている。 ・生徒による意見や感想交換の例が挙げられており、交流によって考えを広げることの具体を生徒に理解させやすいつくりとなっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・QRコードが適宜収録されており、自分の目的や興味・関心に応じて自由に選択し、個々で活用できる。 ・「てびき」の中で協働的な学びを実現する言語活動が位置付けられている。(例 3 年：故郷 作品の主題をまとめ、ほかの人と考えを伝え合おう) ・資料編の参考資料を活用できるように、どの単元(学習内容)で参考にして活用するとよいかが示してある。
	(2)	・単元の終わりに「振り返る」時間が設けてあり、単元で学んだこと、今後に生かしたいことの二つの観点で学習の振り返りができる。
	(3)	・I C T の活用例ではなく、参照資料、解説、練習問題など自学自習に活用できるコンテンツになっている。説明的文章では、実験や調査などの様子がわかる動画があり、本文と合わせて内容理解に活用できる。また、「デジタルコンテンツ一覧表」が巻末にまとめられている。
3 印刷・製本等	(1)	・ページ数が一番少なく軽いため、身体的負担が軽減。
	(2)	・各教材では最下段の数字で行数がわかるようになっている。 ・脚注の新出漢字は、すぐに応用できるように、すべての音訓を示す形にしている。
	(3)	・1 年生教科書に平和教材が取り上げられている。 ・単元における重点に「言葉の力」を設け、簡潔に学習のポイントを整理している。 ・「未来への扉」と題し、9 つの項目に整理し、関連するワードを単元末に記載している。

意見書

教 科
国語

種 目
国語

発 行 者
三省堂

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・「読むこと」領域の教材ごとに「語彙を豊かに」を設定し、使える語句の知識を増やし、語感を磨くことができるよう工夫されている。 ・説明的文章の最初の教材で読み方を学び、その技能を次の教材で生かして自ら学習を進めていける教材配列の工夫がある。
	(2)	・各学年に、情報の扱い方に特化した単元を設けている。 ・1 年時から三角ロジックに触れ、論理力の向上を図っている。 ・グループ・ディスカッションが各学年の初期に位置付いており、学級づくりや授業づくり、他教科等に应用することができる。
	(3)	・「読むこと」教材の最後に位置付いている「学びの道しるべ」では、学力の定着・向上に資する言語活動を設定している。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・「読むこと」教材では、二次元コード参照先のサイトに「動画・音声」「デジタルドリル」「参考資料」などが用意され、個別最適な学びをサポートしている。また、「学びの道しるべ」の「自分の考えを深める」の中に、考えを交流したり話し合ったりする活動を設定している。
	(2)	・指導事項が明確であり、授業と評価の一体化をさせやすい。 ・発達段階に応じた振り返りのキーワードが記載されており、学習のポイントに沿った振り返りがしやすい。 ・「生かそう」という他の単元や場面を設定したものを単元末に位置付けることで、学びを他学年の単元や生活に結びつけやすくなっている。
	(3)	・二次元コードから、読むこと教材の補助資料や解説などが見られるようになっている（ICT 活用例ではない）。説明的文章には、文章を正しく読み解くために「読み方を学ぼう」が設けられており、巻末に全学年の一覧表がある。そのうち、最初の説明的文章の学習での読み方について、解説を視聴できるようになっている。
3 印刷・製本等	(1)	・ページ数を適度に抑え、身体的負担を軽減。
	(2)	・文章最下段に、5 行ごとに下に数字をつけて行数を示している。 ・教材の挿絵はわかりやすいものが多い。(例：1 年生「少年の日の思い出」)
	(3)	・1 年生に平和教材が取り上げられている。 ・巻末の資料編は、他者よりも 2 倍ほどの量がある。 ・3 学年とも「小倉百人一首」「日本文学名作集」が共通して掲載されている。また、学年に合わせて、現代語訳や説明が追加されている。

意見書

教 科
国語

種 目
国語

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・単元の最初に「学びナビ」が設けられ、学ぶ内容について解説してある。学びに向かう力を高めようというねらいが感じられる。 ・重点となる指導事項を扱う時間に合わせて「題材を考える様子」を設けており、生徒の交流活動やその視点を具体化しているため、生徒におさえさせたい事柄が明確になっている。
	(2)	・「読むこと」領域の教材では、「みちしるべ」の「内容を捉えよう」→「読み深めよう」→「自分の考えを伝え合おう」で示される学習活動に、授業の中で取り組む言語活動を示している。
	(3)	・「読むこと」領域の教材では、「みちしるべ」の中に、言語活動のプロセスが示されている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・巻末に「学びナビ」の一覧があり、思考をまとめたり表現をしたりする手がかりとして、情報収集や整理の方法がまとめてある。 ・ある程度学習を進めた段階で、「学びのチャレンジ」というページを設け、身に付けた力を複合的に活用する発展学習の場が位置付けられている。付けた資質・能力を活用の中で一層生徒に自覚させ、実用性を感じさせる意図が分かる。
	(2)	・「読むこと」教材では、「みちしるべ」に、読み取り、理解の確認、考えを表現することの視点で振り返りをする場が設けられている。 ・生徒が学びを振り返る時間を多く確保していることから、指導者の指導改善と確かな評価ができるような工夫がある。
	(3)	・二次元コードからは、読むこと教材の補助資料や解説などが見られるようになっている（ICT 活用例ではない）。 ・「書くこと」教材では、主に完成例がリンクしている。
3 印刷・製本等	(1)	・ページ数を適度に抑え、身体的負担を軽減。
	(2)	・文章各行の最下段に数字（5 行ごと）とその間に点をつけている。 ・学年に応じて文字の大きさや字詰め、行間を変えている。 ・太字や色、下線は、使われているものの、やや見にくい。 ・脚注に取り上げられている新出漢字に読み方が書いていない。
	(3)	・1 年生で平和教材が扱われていない。 ・フォント等も統一感はあるものの、目次から見にくい。学習活動については、大まかな流れはあるものの、個別最適という点からすると、説明がやや不足している。

意見書

教 科
国語

種 目
国語

発 行 者
光村図書出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・「読むこと」領域の教材が、他領域に比べて多いが、同時に言葉の使い方、言語文化、語彙についての教材も豊富で、思考力・判断力・表現力と知識・技能を総合的に高める工夫が感じられる。
	(2)	・「学びへの扉」は見開きになっており、右側に学習の流れを、左側に学習のポイント「学びのカギ」を示している。「学びのカギ」には、その教材で身に付ける資質・能力が視覚的に分かりやすくまとめている。 ・着眼点が設けられており、生徒の思考に沿った学習活動の流れになっている。併せて、三角ロジックの文言の統一が図られ、論理的思考を教えやすくなった。
	(3)	・文学的文章の教材では、「学びへの扉」において、心情をとらえたり表現の効果を考えたりする個別の活動の後に、話し合い・交流で深めていくプロセスが示してある。同様に、説明的文章の教材では、構成や段落の役割等をとらえる個別の学習の後に、話し合い・交流で深めていくプロセスが示してある。 ・「言の葉ポケット」(表現集)を設け、生徒がどんな表現をすればよいか分かりやすく示している。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・書き込み可能なデジタル教材が収録され、実態に応じて「個別最適な学び」を実現できる。また、QR コードから練習問題が出せるため、自分の目的や興味・関心に応じて自由に選択し、活用できる。
	(2)	・どの領域でも三つの観点で、それぞれ自己評価できるようにし、学んだことを振り返り、学習や実生活に生かそうとする工夫がある。 ・単元の中での重点項目が明確であり、生徒にも教師にも付けたい資質・能力が分かりやすい。評価規準も明確であるため、指導する教師にとって、指導に使いやすい教科書のつくりになっている。
	(3)	・タブレット端末を活用した授業に対応できる指導展開になっている。
3 印刷・製本等	(1)	・ページ数を適度に抑え、身体的負担を軽減。
	(2)	・文章各行の最下段に数字(5行ごと)とその間に点をつけている。 ・脚注の新出漢字は、すべての音訓を示す形にしている。 ・新出漢字の下には、本文中で使われている熟語を示している。
	(3)	・1年生で平和教材が取り上げられている。 ・巻内別冊と言うべき「語彙ブック」が各学年8ページずつある。